

令和7年度障害福祉分野の人材確保・定着に係る交流会・セミナー等企画運営業務に関する質問および回答

番号	質問事項	質問内容	回答
1	事業所中堅職員交流会の実施について	対象となる「中堅職員」とされる障害福祉分野の職員層について、仙台市がこれまでに同様の交流機会(研修、セミナー、意見交換会等)を設けた実績はありますでしょうか。もし過去に実施がある場合、具体的な形式や対象者、頻度など、概要をご教示いただけますと幸いです。	開催実績はありません。
2	学生と若手職員の交流会について (1)学生の定義	本事業における「学生」とは、大学生・専門学校生のみを対象としたものか、高校生等も含まれるものか、対象範囲の想定についてご確認ください。	対象範囲は大学、短期大学、専門学校及び職業訓練施設の学生を想定しております。
3	学生と若手職員の交流会について (2)告知対象の学校種別	市が行う予定の「学校への開催案内」について、対象は福祉系に限らず市内すべての大学・専門学校・高等学校を含む広報を想定されていますでしょうか。想定範囲をご教示ください。	昨年度は、主に下記いずれかの条件を満たす市内の大学、短期大学、専門学校及び職業訓練施設に開催案内を送付いたしました。 ・福祉学を学ぶことができる ・看護師、理学療法士、作業療法士、介護福祉士、保育士等の資格を取得することができる 今年度につきましては、より効果的な送付範囲や広報手法がありましたらご提案ください。
4	学生と若手職員の交流会について (3)若手職員側の参加の位置付け	若手職員の参加について、交流会を通じて障害福祉の魅力や学生に伝えるという側面がある場合、職員が「自法人の取り組み紹介」や「PR」を行うような役割を担う形での参加も、本事業の趣旨として問題ないでしょうか。	差し支えありません。 なお、昨年度交流会を実施した際には、希望する場合には事業所パンフレットを参加した学生に配布いたしました。

令和7年度障害福祉分野の人材確保・定着に係る交流会・セミナー等企画運営業務に関する質問および回答

番号	質問事項	質問内容	回答
5	学生と若手職員の交流会について (4)若手職員の選出方法の想定	若手職員の参加は、本人による自由応募を想定されていますか。それとも、所属事業所が適任者(魅力を伝えられる人材など)を推薦する形を想定されていますか。また、若手職員は「学生との対話の参加者」としての立場か、「障害福祉分野の魅力発信者」としての立場か、想定している役割のイメージがあればご教示ください。	若手職員の選出方法に特段の指定はありませんが、より多くの法人、事業所から参加いただける状況が望ましいものと考えております。 昨年度は、市内の事業所宛に所属する若手職員への周知、参加へのご協力を依頼のうえで開催案内を送付したところ、予想を上回る申し込みがあり、申込受付後に同事業所から2名以上の申込者が場合は、1名のみにする調整を行いました。 また、若手職員の役割イメージにつきましては、学生が障害福祉分野を就職先の一つとして選択してもらえるような企画内容に沿った立場でご提案ください。 なお、昨年度は、一対一で学生から職員へのインタビューを行ったり、学生と職員各3名でグループを作り、一人ずつサイコロを振って出た目に応じて話を行ったため、「学生との対話の参加者」としての意味合いが強いものでした。
6	学生と若手職員の交流会について (5)推薦による参加の可否	上記に関連して、市として若手職員の選出方法に特段の指定がない場合、学生に障害福祉の魅力をより効果的に伝える観点から、事業所から推薦を受けた若手職員を中心としつつ、希望者の参加も妨げない形で運用することは可能でしょうか。	差し支えありません。
7	メールマガジンについて (1)形式に関して	メールマガジンの形式について、HTML メールやPDF 等の添付ファイルを活用した配信(本市が送信する前提で)も可能でしょうか。それともテキスト形式に限る等の制約がありますか。	メールマガジンの形式に指定はありません。

令和7年度障害福祉分野の人材確保・定着に係る交流会・セミナー等企画運營業務に関する質問および回答

番号	質問事項	質問内容	回答
8	メールマガジンについて (2)外部リンクの活用について	昨今のメルマガは、簡潔な概要文を入口として、外部のWeb コンテンツ等に誘導する形式が主流となっています。そのような構成(例:HR 関連サイトの記事や動画等に誘導する内容)を含んだ企画提案も本事業の趣旨に合致するものとして受け入れ可能か、ご確認させてください。	差し支えありません。
9	各セミナーの資料について	研修資料は配布が必須となる想定か、ご確認させてください。	オンライン開催時にはデータ送付、対面での開催時には紙媒体の配布を想定しております。
10	各セミナーの参加者の募集受付について	「企画提案者は申込者を集計し本市宛に報告したうえで、電子メール、FAX または郵送のいずれかにより申込者に参加可否について回答すること」とありますが、フォームでの先着での参加受付(メールは自動返信)での募集は問題ございませんでしょうか。	差し支えありません。
11	当日参加者用飲み物と茶菓の準備について	「障害者就労施設等で製造している飲料、菓子を含めるよう努めること。」とありますが、仙台市内の就労施設限定でしょうか。その場合、飲料・菓子製造を行っている就労支援施設について市より情報共有はいただけますでしょうか。	仙台市内に所在する障害者就労施設を想定しております。 また、飲料・菓子製造を行っている仙台市内の就労施設の情報を提供することは可能です。

令和7年度障害福祉分野の人材確保・定着に係る交流会・セミナー等企画運営業務に関する質問および回答

番号	質問事項	質問内容	回答
12	企画提案書(副本)への事業所名特定表現について	企画提案書の副本には、事業所名が特定できる表現、ロゴマークなどの記載は行わないよう指定いただいておりますが、どの程度情報を伏せるべきかご教示賜りたく、質問申し上げます。	提案内容をより客観的かつ公正に審査するため、企画提案書の副本の作成にあたっては、事業者名等を推測できるような記述は可能な範囲で控えていただくようご協力をお願いいたします。